

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		火災訓練は行っているが、実際火事起きた時は、どれだけの方を誘導出来るか不安がある。	「火事を出さない」職員一人ひとりが、火の元には十分気をつける	地域の消防団の方々にお願ひし避難訓練に立ち会っていただき、どのような手順で避難を行うか指導を受けたい。	6ヶ月
2		利用者本意が少し乏しいように思える。	その人らしい生活を送る	優しい言葉掛け、人生の大先輩として尊厳をもって会話をする。職員同士で注意し合う。	3ヶ月
3		感性・気付いてあげていないことがある。	利用者の訴えに気付くことができる。	細やかな配慮が出来るよう職員間でよく話し合い、報告・連絡・相談連携の強化。	6ヶ月
4		徐々にADLの低下がみられ、歩行時不安定の為、車椅子での生活を送られている。	「生きていて良かった・楽しい・幸せ」だと思っただけの施設に。	歩行リハビリ・下肢筋力強化・作業療法・レクリエーション等の声掛けをする。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。